

## 第60回 日本輸血・細胞治療学会近畿支部総会演題抄録執筆要項

1. 演題の登録は、全て電子メールによる登録とします。  
E-mail: 60yuketsukinki@adfukuda.jp 宛にお送り下さい。
2. 電子メールの件名（表題）は「輸血抄録・筆頭発表者名」として下さい。
3. 抄録は、Windows で作成頂き、Microsoft Word で開いた状態で文字化けが発生しないか必ずご確認の上、お送り下さい。
4. 文字数は、演題名、所属、演者名および本文を含め 600 字以内とします。
5. 文字化けを防ぐために下記フォントに限定します。  
日本語：MS ゴシック、MSP ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝  
英語：Century、Century Gothic、Arial、Arial Black、Times New Roman
6. 抄録は、演題名、所属、筆頭発表者名、共同発表者名、本文の順に記載して頂き、筆頭発表者名には、○をつけてください。
7. 図表は使用できません。
8. 下記の作成見本を参照の上、作成して下さい。
9. 演題応募締切：平成 28 年 9 月 9 日（金）必着です。多くの先生方からのご応募をお待ちしております。

### 作成見本

3. ABO血液型メジャー不適合生体肝移植における高力価抗A、抗B抗体を保有した症例の抗A、抗B抗体価の推移

大阪大学医学部附属病院 輸血部<sup>1)</sup>、消化器外科<sup>2)</sup>

○細川 美香<sup>1)</sup>、中山小太郎純友<sup>1)</sup>、櫻木美基子<sup>1)</sup>、中尾まゆみ<sup>1)</sup>、森川 珠世<sup>1)</sup>、  
清川 知子<sup>1)</sup>、青地 寛<sup>1)</sup>、永峰 啓丞<sup>1)</sup>、和田 浩志<sup>2)</sup>、丸橋 繁<sup>2)</sup>、江口 英利<sup>2)</sup>、  
永野 浩昭<sup>2)</sup>、富山 佳昭<sup>1)</sup>

【はじめに】 当院では2005年から2014年8月までに16例の ABO 血液型メジャー不適合 生体肝移植が施行されている。特に IgG 型抗A、抗Bが高力価（1024倍以上）の ABO メジャー不適合生体肝移植では、抗体価のコントロールに苦慮する。今回、16例のうち高力価（1024倍以上）の抗A、抗Bを保有していた4例について術前、術後1ヵ月の抗体価の推移を検討したので報告する。

【対象】 ABO 血液型メジャー不適合生体肝移植で、高力価（1024倍以上）の IgG 型抗A、抗Bを保有していた4例。

【結果】 高力価抗体保有症例は全てO型レシピエント、A型ドナーであった。全ての症例において血漿交換（PE）、抗 CD20 抗体（リツキシマブ）が使用された。リツキシマブの投与は術前1週間前、2週間前が各2例であった。リツキシマブ術前1週間前投与例では2週間前投与例にくらべ IgG 型抗A抗体価の低下が悪く、2週間前投与例では術前の PE は3回であったが、1週間前投与例では術前の PE 3回でも高力価であり、移植当日も PE が施行された。

【まとめ】 高力価抗体保有症例に対し PE とリツキシマブの併用が有効であると考えられた。今後、リツキシマブ投与例と未使用例で抗体価の推移を比較検討していく予定である。